

OLS活動奨励賞

多職種で行う OLS の実際

—骨粗鬆症リエゾンサービス磐田モデル—

磐田市立総合病院薬剤部
長谷奈那子

はじめに

第1回骨粗鬆症マネージャー認定試験で資格を取得し、日常業務にプラスαなことをやってみたいと思い、整形外科部長に相談したところ「これを使って何かやってみたら」とタブレットを渡された。このタブレットを使って地域連携パスにより回復期病院へ転院する大腿骨近位部骨折の患者を対象に治療継続の必要性を説く啓発活動を行ったのが当院の骨粗鬆症リエゾンサービス (OLS) のスタートである。

その後 OLS に興味をもつ仲間が少しずつ増えて、現在では骨粗鬆症マネージャーは10名、骨粗鬆症リエゾンチームには18名が所属し活動を行っている。

病棟では薬剤師が、外来では看護師が活動

入院患者には薬剤師が、外来患者には看護師が OLS を行っている。整形外科病棟の看護師が継続看護の一環として外来に出向き、退院後に外来を訪れた骨粗鬆症性骨折患者を中心に、骨密度の結果説明やカルシウムチェック表を用いた栄養指導、運動や転倒予防等などの生活指導を行っている。

当初は製薬メーカーから提供された資材を使って OLS の指導を行っていたが、それに改良を加える形で病院オリジナルの説明用の資材を作成し、

現在ではそれを利用している。また、病院オリジナルで『骨こつ富士登山カード』を作成した(図)。このカードの表面には1カ月毎の服薬確認欄があり、裏面には骨折歴、骨粗鬆症治療薬、骨密度の記載欄があり、お薬手帳に挟んで活用している。

院内公認の会として勤務時間内に連絡会を開催

平成29年から院内公認の組織として認められ、『骨粗鬆症リエゾンサービス連絡会』を勤務時間内に開催できるようになった。この連絡会で活動の中で生じる問題や、新規の活動の検討、臨床研究などについて話し合いを行っている。

臨床研究を活動につなげる

当院の OLS 活動の対象は、大腿骨近位部骨折地域連携パス患者から徐々に広がり、橈骨遠位端骨折患者や外来通院中の骨粗鬆症患者、施設に入所する患者にも行っている。活動を拡大していくカギとなっているのは臨床研究である。骨粗鬆症マネージャー一人一人が自分の活動に

テーマを設定し、介入方法の事前検討、介入、振り返りというサイクルを繰り返して活動している。自分の OLS 活動の振り返り結果を日本骨粗鬆症学会で発表することを目標にしており、学会発表で得たノウハウが次の活動の糧になっている。

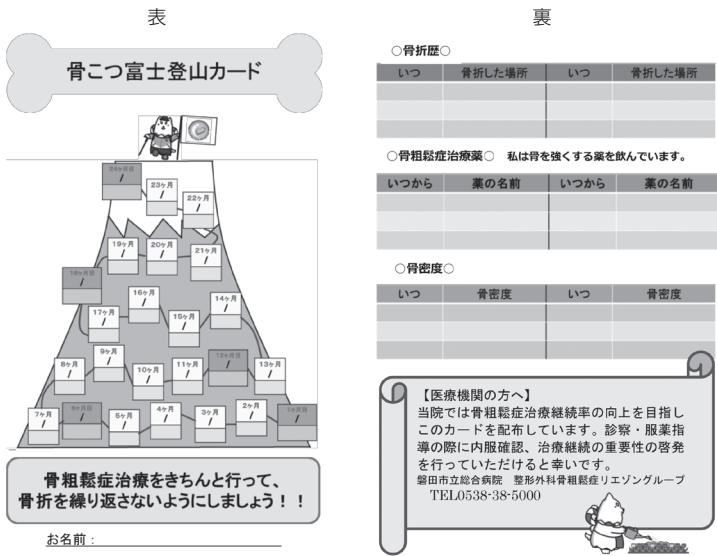


図 骨こつ富士登山カード

千葉県骨粗鬆症マネージャー連携協議会を中心とした

All CHIBA のアウトカム構築

—ちば OLS マニュアルを生かした患者 QOL 向上への挑戦—

聖隷佐倉市民病院リハビリテーション室
加藤木丈英

本邦において骨粗鬆症マネージャー制度が開始されており、その臨床的効果が期待されている。しかしながら制度開始から間もないこともあり、その医療経済的な評価はもとより、QOL 改善効果は示されていない。特に高齢化率が諸外国と比較し顕著である本邦は、他国と骨粗鬆症に関する疫学が異なるため独自のデータ収集が急務である。そこでわれわれは、本邦での骨粗鬆症マネージャー介入による患者 QOL 改善効果を明らかにするために、独自のマニュアルを使った多施設共同研究を計画した。主要評価項目を患者 QOL 向上とし、マネージャーのモチベーション向上にも寄与することが目的である。本研究の中心となるのは、千葉県内の骨粗鬆症マネージャーである。本研究には2016年に立ち上げた千葉県骨粗鬆症マネージャー連携協議会、また2017年に立ち上げた千葉若手骨粗鬆症研究会のメンバーが参画している。本研究はこれら2つの母体をベースに遂行していく予定である。

本研究は、「骨粗鬆症マネージャー介入による患者 QOL 改善効果に関する多施設前向き縦断観察研究」と銘打った多施設前向き縦断観察研究である。マネージャーが抱えている現状での問題点や、やりたいことを調査し、それらの結果を加味した項目を設定している。また、「ちば OLS マニュアル」のうち患者参画型の薬剤選択システムを使用していく予定である。これは、千葉県骨粗鬆症マネージャー連携協議会で立案されたマニュアル

の1つで、「患者参画型の薬剤選択システム」である(図1, 2)。主治医とマネージャーと患者が話し合い、患者自らが薬剤を選択できるものとなっている。年に2回開催される協議会のグループワークより出された案を幹事会で取りまとめて完成したものである。患者が自身で薬剤を選択できるため、服薬のアドヒアランスが向上し継続率向上に反映されることを期待している。

本研究により、患者が薬剤を自ら選択するとい

う患者参画型のシステムの有用性と、マネージャー介入による患者 QOL 改善効果が明らかになれば、マネージャーのモチベーション向上に寄与することは明らかであり、その意義は大きなものであるといえる。マニュアルに沿うことで、マネージャーとしての一步を可及的迅速に踏み出すことができ、その結果患者 QOL を向上させることがわれわれの目指すアウトカムである。

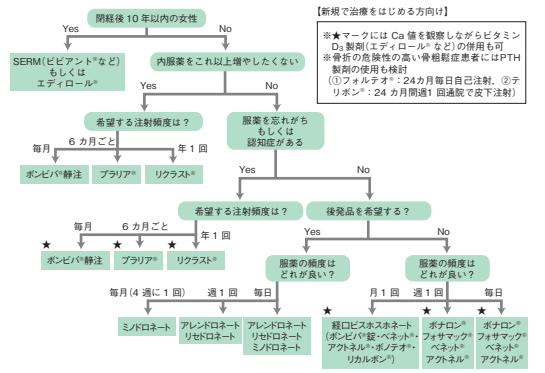


図1 新規で治療をはじめる患者向けの薬剤選択アルゴリズム

主治医と骨粗鬆症マネージャーと患者が話し合い、患者自らが薬剤を選択する。

(千葉県骨粗鬆症マネージャー連携協議会幹事会)

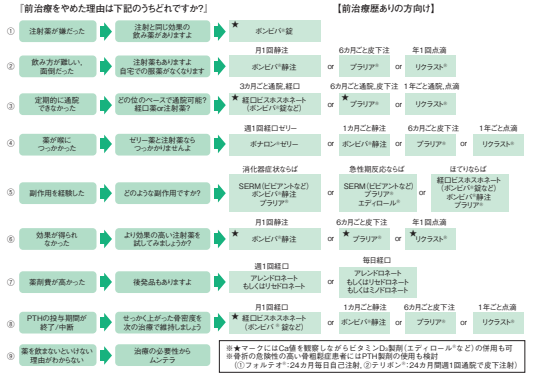


図2 以前に治療していた患者向けの薬剤選択アルゴリズム

前治療をやめた理由を共有し、主治医と骨粗鬆症マネージャーと患者が話し合い、患者自らが薬剤を選択する。

(千葉県骨粗鬆症マネージャー連携協議会幹事会)



施設探訪

OLS 活動奨励賞受賞者インタビュー



市橋直子

一般社団法人新潟市薬剤師会、はあとふる薬局

取材協力

田中悠介(一般社団法人新潟市薬剤師会、しなの薬局)

國井洋子(一般社団法人新潟市薬剤師会、くにい調剤薬局)

整形外科領域への関心から、
骨粗鬆症マネージャーの資格を取得

近年、骨粗鬆症に関する専門知識を有し、骨折予防や治療に関する一般啓発の推進役を担う骨粗鬆症マネージャーの資格取得者が増えている。2019年4月1日時点の認定者は3,061名、薬剤師は17%を占めるが、「全国的に、病院薬剤師に比べ、薬局薬剤師の骨粗鬆症マネージャーは少ないのが現状です」と市橋氏はいう。

市橋氏が所属する、はあとふる薬局は、新潟リハビリテーション病院の処方箋を多く取り扱う。そのため、氏が整形外科領域の問題に触れる機会は多く、骨粗鬆症に対する関心も高かった。國井氏も、日常的に整形外科の処方箋に必需する中、「もっと知識を身につけ、患者さんの役に立ちたい」という思いを抱えていた。

そして市橋氏、國井氏はそれぞれ第1回(2012年)、第2回(2013年)の骨粗鬆症マネージャー認定試験を受け、資格を取得する。

「資格をどう活用すべきか、2人でよく話し合っていました。ただ、私も國井先生も整形外科領域が身近すぎて、問題を客観視できていないように感じたのです」と市橋氏はいう。

そこで、整形外科領域以外の事情にも詳しい田中氏に声をかけ、3人での取り組みがスタートする。田中氏は、「あえて異なる視点を取り入れたいという2人の熱意にほだされ、取り組みに加わることを決めました」と振り返る。



市橋直子氏

取得した骨粗鬆症マネージャーの
資格をどう活かすべきか

骨粗鬆症マネージャーとして薬局薬剤師に何ができるのか、身近な例がなく、手探りの状態であった。「ただ、シンプルに考えて薬局薬剤師の業務の特徴は、多くの患者さんと接すること。それな

ら、普段の薬局業務の中で骨折予防に取り組もうという話になりました」と國井氏はいう。

「実は、薬局薬剤師の中では骨折予防への関心が特段、高いとはいえません」と田中氏は指摘する。その背景として、薬局が応需する処方箋は、圧倒的に内科系が多いことが挙げられる。内科でも骨粗鬆症の薬剤は処方されるが、骨粗鬆症治療薬の服薬について詳しい説明はなされていないという。

「高血圧、糖尿病は服用効果が数値で確認できるため、患者さんに指導がしやすい。ところが骨粗鬆症治療薬は、患者さんにとって効いているかどうか実感しづらく、それが服薬指導でもネックになっています」と田中氏は説明する。

國井氏も、「骨粗鬆症治療薬を服用中、骨密度が下がる人もいます。“飲まなかったらもっと下がっていたかもしれませんね”と励ましますが、そこで脱落する患者さんも多く、骨粗鬆症治療薬の服用継続は薬局薬剤師の大きな課題だと思います」という。

より多くの薬局で活用しやすい
チェックシールを模索

薬局業務における骨折予防の取り組みを検討する中、アプローチは2つ、『骨粗鬆症ハイリスクの患者さんを発見すること』『骨粗鬆症患者さんの服用継続率を高めること』に絞られた。

それらを実現するツールとして、「お薬手帳の持参率は8割と高く、使わない手はない。そして、手帳にシールを貼る行為は薬剤師にとって日常的

な習慣です。薬局業務になじみやすい取り組みとして、お薬手帳にチェックシールを活用する方法を考えました」と市橋氏は説明する。

作成するチェックシールは、「①骨粗鬆症ハイリスクの患者さんを発掘するシール」と、骨粗鬆症治療薬の中でも服用方法が難しい「②ビスホスホネート製剤の服用継続を高めるシール」の2種類とした(図1)。



田中悠介氏

①のシールは、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015年版」¹⁾「ステロイド性骨粗鬆症の管理と治療ガイドライン 2014年改訂版」²⁾を参考にチェック項目を作成、1項目でも該当すれば検診、受診を勧めることとした。

②のシールは、正しい服用方法の確認をはじめ、副作用や顎骨壊死の発生に配慮し、歯科受診の有無もチェックできるようにした。

チェックは、処方箋をもって来局した患者さんを対象にカウンターで行い、問題がなければ「○」、

①	
【骨粗鬆症治療薬 非服用】 ☐ 最近身長が低くなったり、腰や背骨が丸まってきましたか ☐ 親が、太ももやつけねや背骨の骨折をしたことがありますか ☐ 今までに骨折したことがありますか() ☐ ステロイドを3カ月以上服用していますか ☐ 全て該当なし 項目に当てはまる方は、ぜひとも骨粗鬆症の検査を受けましょう	【骨粗鬆症治療薬 非服用】薬剤師用 ☐ 最近身長が低くなったり、腰や背骨が丸まってきましたか ☐ 親が、太ももやつけねや背骨の骨折をしたことがありますか ☐ 今までに骨折したことがありますか() ☐ ステロイドを3カ月以上服用していますか ☐ 全て該当なし 日付(/)氏名： 生年月日：
②	
【骨粗鬆症治療薬 ビスホスホネート服用】 ☐ 起床後服用し、朝食までの間を(30・60分)空けていますか ☐ 服用後(30・60分)横になってはいませんか ☐ 胸やけ、胃もたれ、喉のつかえ感はありませんか ☐ 飲み忘れはありませんか ☐ 歯科治療を受けていませんか()	【骨粗鬆症治療薬 ビスホスホネート服用】薬剤師用 ☐ 起床後服用し、朝食までの間を(30・60分)空けていますか ☐ 服用後(30・60分)横になってはいませんか ☐ 胸やけ、胃もたれ、喉のつかえ感はありませんか ☐ 飲み忘れはありませんか ☐ 歯科治療を受けていませんか() 日付(/)氏名： 生年月日：

図1 2種類のチェックシール

①骨粗鬆症ハイリスクの患者さんを発掘するシール、②ビスホスホネート製剤の服用継続を高めるシール

該当する場合は「✓」を記入した上で、お薬手帳に貼る流れとした。チェック項目の裏付けとなる説明や、服用指導時に使える文言を示した「シール使用解説書」も作成し、シールを活用する薬剤師が患者さんに均一した説明、指導が行えるよう工夫を加えた。

薬局における チェックシール活用の実例

國井氏によると、①のシールは、60 歳代以降で痩せている女性患者さんを中心に声をかけ、チェックを行っているという。ほかにも、カウンターでの何気ない会話の中から、「高いところに手が届かなくなった」「前に骨折したことがある」などと聴取できた場合も、チェックを勧めている。1 つでも該当する項目があれば検診、受診を勧めるが、該当項目がなくても、患者さんには食事や運動など、骨粗鬆症に関する話題を提供し、興味をもってもらうよう努めている。

②のシールについて、市橋氏は、患者さんとカウンターで会話を交わす中、服用方法の違いに気づいた際などの指導に役立つという。チェックの結果、飲み忘れが多いことがわかれば、月 1 回製剤の希望を確認して処方医照会を行い、嚥下機能が低下している場合は、ゼリー製剤や注射製剤への変更も提案している。

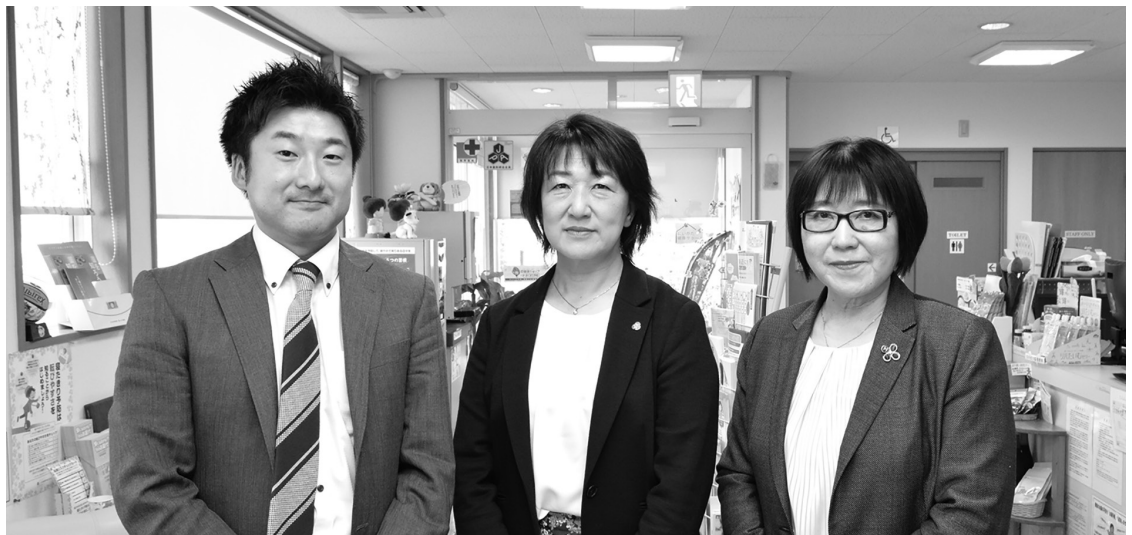
また、田中氏は、「高齢になるとデイサービスや施設に行く患者さんも多い。施設スタッフにも骨粗鬆症治療薬の服用を把握してもらえよう、情報共有ツールとして活用してもらえれば」と期待を寄せる。



國井洋子氏

チェックシール導入が地域の 骨粗鬆症診療にもたらした影響

市橋氏らは、実際に多くの薬局でもチェックシールが活用可能かを検証すべく、平成 28 年の 7 月～ 29 年 7 月の期間中、新潟市薬剤師会会員



64 薬局(薬剤師 117 名)に計 6 回(各回 2 週間トライアル)使用してもらい、アンケートを実施した。

その結果、①のシールの実施者は計 167 名、②のシールの実施者は計 636 名であった(図 2)。そのうち、骨粗鬆症の検診・受診につながった例は 21 件(約 18%)にのぼり、『骨粗鬆症治療薬に対する薬剤師の関心が高まった』という回答は 6 割を超えた。『今後もシールを活用したい』と回答した薬剤師も、74%にのぼった

「恐らく、シールを貼るという行為が、薬剤師の意識向上につながったと思います。さらにその熱意が患者さんに伝わり、検診や受診を実現させたのではないのでしょうか」と田中氏は分析する。

薬剤師の意識向上という点に関し、市橋氏も、「ステロイド性骨粗鬆症ではスコア 3 以上で薬物療法開始となりますが²⁾、そのことをチェックシールで知った薬剤師も少なくないようです」と指摘する。

また、アンケート結果では、整形外科より、内科の処方箋を多く受けている薬局での活用が多かった。「意外な結果でしたが、われわれの活動を聞きつけた内科医によって、骨粗鬆症治療薬が処方されたケースもあるそうです」と國井氏はいう。

田中氏も、「内科に通院中の患者さんの場合、内科医の診断による処方もあるれば、整形外科医との連携で診る形もあるでしょう。いずれにせよ、薬局でのチェックをきっかけに、地域全体で骨粗鬆症に対する関心が高まっていくとよいと思います」という。

全国で仲間を増やし、 取り組みのさらなる発展へ

新潟市を中心に始めた取り組みだが、チェックシールについて話を聞きたいと、各地域から講演会などへの依頼が増えているという。

國井氏は、「骨折予防や、骨粗鬆症治療薬の服用継続は、全国共通の課題です。高齢化社会で女性も増えて、骨折はますます増えるはずです。多くの薬剤師にわれわれの取り組みを知ってもらって、仲間を増やしていきたいです」と今後を語る。

市橋氏は、「かかる費用はシール代のみ、導入に必要なのは熱意だけです。われわれのやり方を参考に、その地域なりの使い方を工夫してもらえればよいと思います」と強調する。

田中氏も、「健診で骨密度が低いとわかってても、“年だから”で済ませる人も多いはず。一方、薬局に来る患者さんは、そもそも病気治療のため通院中ですから、シールでチェックをして検診・受診が必要とわかれば、受け入れやすいでしょう。そういう点でも薬局は、骨折予防や、骨粗鬆症治療の服用継続をサポートする場として、適しているかもしれません」という。

最後に市橋氏に、今後の活動の予定について伺った。「②のシールでチェックをした患者さんの、長期的な服用継続率について公表する予定です。また、骨粗鬆症治療薬が経口から注射製剤へ切り替わった際、薬局薬剤師が把握できるような項目も検討していきたいですね。とにかく骨粗鬆症の世界は進歩がめざましく、われわれが対応すべきことはどんどん増えています。地域の中で骨折予防のために何ができるのか、それを全国の骨粗鬆症マネージャーと一緒に考えていきたいと思っています」。

文献

- 1) 骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会 編：骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015 年版。ライフサイエンス出版、東京、2015
- 2) 日本骨代謝学会 ステロイド性骨粗鬆症の管理と治療ガイドライン改訂委員会 編：ステロイド性骨粗鬆症の管理と治療ガイドライン 2014 年改訂版。大阪大学出版会、大阪、2014

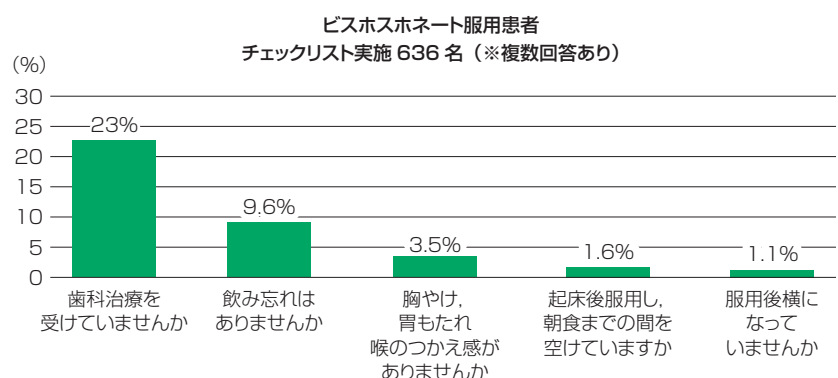
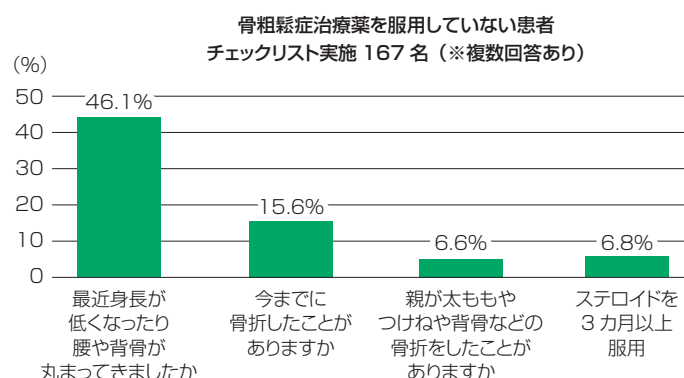


図 2 チェックシール①(左)、②(右) 実施者における回答の内訳

2019年度 第4回 OLS活動奨励賞 受賞者決まる!!

2019年度の第4回 OLS 活動奨励賞が厳正なる審査を経て下記のとおり決定いたしました。

受賞者は10月の学術集会会員総会で表彰され、賞状と副賞が贈呈されます。(敬称略)

- * **小尾 礼** 柏厚生総合病院 骨粗鬆症リエゾンサービス委員会
「急性期病院における汎用型・骨粗鬆症リエゾンサービスの確立」
- * **土屋篤史** 社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市東部病院 薬剤部
「3次救急病院における OLS の構築 ～ OLS 運動器ケアチームの形成と多職種で始める骨折予防～」
- * **原 克樹** 医療法人社団 十善会 野瀬病院 薬剤科
「パフォーマンスシートを用いたリエゾナースによる医療面接と循環型 OLS の構築」

授賞内容、施設紹介は次号以降の「学会雑誌 JJOS」や「OLS かわら版」で紹介していく予定です。

学会からのお知らせ



● 第1期骨粗鬆症マネージャーの認定更新が始まります

骨粗鬆症マネージャー制度も来年で5年が経過し、第1期に認定された方々が認定更新の時期を迎えます。学会では認定更新者に関して手続きおよび規則上のような支援策、救済策を設定しました。詳しくは学会ホームページで確認ください。

- (1)参加証, 受講証紛失者
学術集会参加証や認定研修会の受講証紛失について学会事務局で参加確認の支援を行う
- (2)更新申請手続き忘れ
更新申請期間内に更新申請を失念した認定者に次年度の申請時期に申請することを認める
- (3)研修単位数不足
研修単位数不足者に単位取得に関して1年間の時間的猶予・救済を行う

Quality of Life

患者さんの健やかな笑顔のために。

一人でも多くの方が生きることを前向きにとらえ、
しあわせを感じられるように。

帝人ファーマ株式会社

東京都千代田区霞が関3-2-1 (霞が関コモンゲート西館)
<http://www.teijin-pharma.co.jp/>



第21回日本骨粗鬆症学会

会期 2019年10月11日(金)～10月13日(日)

会場 神戸国際会議場・神戸国際展示場

会長 萩野 浩 鳥取大学医学部 保健学科

<http://www2.convention.co.jp/21jos/>

多職種で
骨卒中
を防ぐ